

ノロウイルスの感染予防のポイント

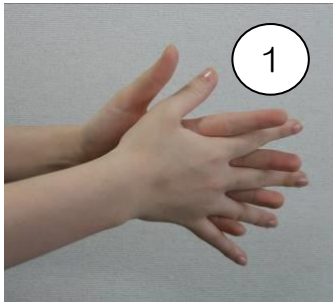
次のことに気をつけ、感染予防に努めましょう

1 外出から帰宅したときや、トイレの使用後、調理や食事の前は、しっかりと手洗いを励行しましょう

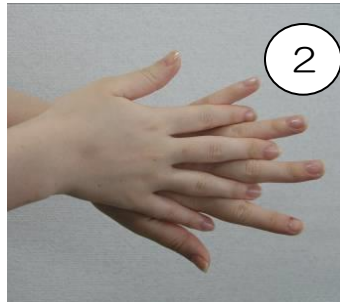
正しい「手洗い」の方法

●まずは手を濡らしてから、手洗い石けんを使いましょう。

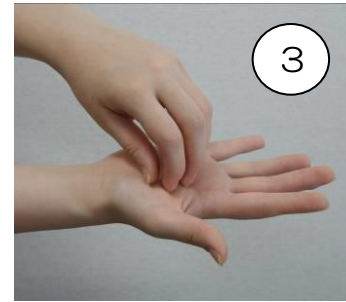
写真①手のひらを合わせ
(力強く！5秒間)



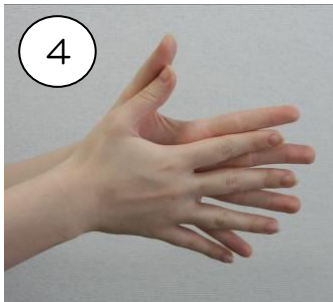
②手の甲を伸ばすように
(右も左もごしごしと！10秒間)



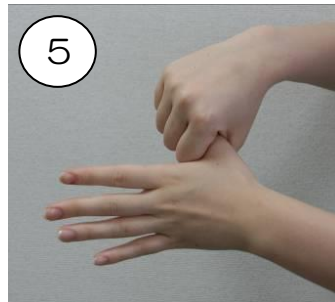
③指先、つめの間もしっかりと
(渦を描くように！5秒間)



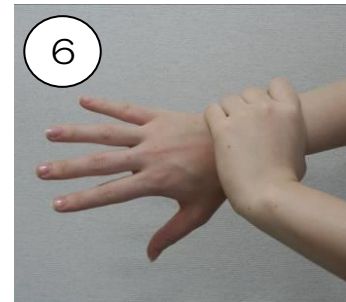
写真④指の間も十分に
(よくこすり合わせて！5秒間)



⑤親指を手のひらでねじり洗い
(親指を忘れずに！5秒間)



⑥手首も忘れずに
(5秒間)



●手を洗った後は、

- ・きちんと手を拭きましょう。
- ・ハンカチやタオルは常に清潔にしておきましょう。



2 おう吐物や排泄物などの汚物は適切に処理しましょう

● 汚物の処理方法

- ① 患者の便や嘔吐物を処理するときは、使い捨てのマスクと手袋を着用しましょう。
(図1)



- ② 便や嘔吐物はペーパータオルなどで拭き取り、ビニール袋に入れ、密閉しましょう。
(図2)



- ③ 残った便や嘔吐物の上にペーパータオルをかぶせ、その上から約0.1%次亜塩素酸ナトリウム液を十分浸るように注ぎ、汚染場所を広げないようにペーパータオルでよく拭きましょう。
(図3)



- ④ 消毒後、水拭きを行いましょう。
⑤ 処理後は、丁寧に手を洗いましょう。

● 次亜塩素酸ナトリウム液の調整方法（6%含有の市販品を使用した場合）

- ・ 約0.1%の次亜塩素酸ナトリウム液を調整するには、原液キャップ7杯分を水2Lに入れて希釈します。
 - ・ 次亜塩素酸ナトリウム液は、時間が経つと効果が弱まります。作り置きはせず、使用期限内のものを使用しましょう。
 - ・ 誤って飲んだり、調理に使用しないよう、調製容器にはラベルを貼り、飲食物と確実に区別して管理しましょう。
- 調理器具・おもちゃ・衣類・タオル等は熱湯（85℃以上）での1分以上の加熱が有効です。
 - ウイルスは乾燥すると空気中に漂い二次感染の恐れがあるので、汚物はなるべく早めに処理しましょう。



1人1人の心掛けが感染症のまん延を防ぐこととなります。感染しないためにも、また、感染させないためにも、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

大田原市健康政策課
健康政策係
TEL (23) 8975